

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4290201567		
法人名	社会福祉法人 葉港会		
事業所名	高齢者グループホーム 天神ベイヒルズ		
所在地	長崎県佐世保市天神町1205-19		
自己評価作成日	令和6年12月1日	評価結果市町村受理日	令和7年3月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1
訪問調査日	令和7年2月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

佐世保の中心部「天神の丘」の住宅街に位置し、散歩やショッピングが身近に楽しめるのが魅力です。交通の便にも優れた生活環境、自然環境、そして展望とどれをとっても満足して頂ける環境です。利用者様、ご家族共に個々の時間をゆっくりと過ごすことができるグループホームです。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、佐世保市の天神山中腹に位置し、佐世保港を一望できるロケーションで、昼間は穏やかな陽光が差し込み、夜は美しい夜景が楽しめる、眺望に恵まれた環境である。当法人は、市内北部にグループホームと特別養護老人ホームを運営しており、地域に根差した福祉サービスを提供している。開設から3年弱とまだ新しいホームであるが、法人内の他事業所で長年培ってきた経験豊富な職員が多く在籍しており、理事長も職員の能力を高く評価し、誇りに思っている。近隣にはスーパーがあり、日用品や食料品の買い物も容易にでき、また移動販売車が定期的に敷地内に訪れ、入居者が自身で買い物できる機会を提供している。法人内で長年勤務している職員や国家資格を持つ職員が多く、質の高いサービスを提供できることが当ホームの強みとなっている。明るく活気のある雰囲気の中での支援は、入居者の笑顔にも繋がっており、入居者の表情が以前に比べて大きく変わったと、管理者も笑顔で話している。職員間の良好な関係性も築かれており、年を重ねるごとに、より風通しの良いホームへと成長していくことが大いに期待できる。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「太陽と音楽と香りと語らいを」を基本理念に入居者様が地域の中で健康で幸福な安心と信頼あふれる生活を支えるための理念を持っています。	「太陽と音楽と香りと語らいを」を基本理念に入居者様が地域の中で健康で幸福な安心と信頼あふれる生活を支えるための理念を持っています。	太陽の光が差し込む明るい共用空間で、食欲をそそる香り豊かな食事を提供できるよう努めている。落ち着いた音楽が流れる中で、心穏やかに食事を楽しみ、語らいを深める時間を大切に、職員は理念に基づいて日々の支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の民生委員の方と情報交換を行います。また、地域学校行事等案内があれば来賓として参加致します。	地域の民生委員の方と情報交換を行います。また、地域学校行事等案内があれば来賓として参加致します。	町内会に加入し、回覧板の配布や地域民生委員、町内会役員との連携を通じて、地域の情報を収集している。収集した情報は、必要に応じて入居者や家族、関係機関と共有し、地域全体で支え合う体制づくりに貢献している。法人内の理学療法士や看護師が専門知識を活かし、高齢者向けの体操教室のメニューを作成しており、月1回、地域高齢者の方々を対象に体操教室を開催し、健康維持や介護予防を支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	キャラバンメイト養成研修や認知症ケア専門誌等の資格を積極的に取得し地域の方々に認知症についての理解を深めて頂きます。	キャラバンメイト養成研修や認知症ケア専門誌等の資格を積極的に取得し地域の方々に認知症についての理解を深めて頂きます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催とし、参加者様のご意見を伺い取り入れながらサービスの向上に努めています。	2ヶ月に1回開催とし、参加者様のご意見を伺い取り入れながらサービスの向上に努めています。	運営推進会議を定期的開催し、会議は、地域包括支援センター職員、町内会役員、家族の代表者によって構成されている。入居者の状況(健康状態、生活状況など)や、行事・活動の報告、事故やトラブル発生時の報告と再発防止策、その他運営に関する重要事項について質疑応答がなされ、会議の内容は、議事録として記録し、欠席された委員や家族に送付している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターと連絡を取ります。	地域包括支援センターと連絡を取ります。	生活保護を利用されている入居者の支援において、市生活福祉課職員の定期的な訪問や情報交換を行っている。入居者に関する相談や情報提供を長寿社会課と連携して行っている。入居者の在宅復帰を支援する際には、地域包括支援センターと連携し、必要な介護サービスや生活支援の調整を行っている。金銭管理が困難な場合には、社会福祉協議会の自立生活支援事業と連携し、適切な支援を提供している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束にかかわるマニュアルを作成し職員で共有し、身体拘束を行わないケアに取り組んでいます。	身体拘束にかかわるマニュアルを作成し職員で共有し、身体拘束を行わないケアに取り組んでいます。	長崎国際大学の講師による専門的な研修や、市長寿社会課が案内する外部研修に積極的に参加している。研修に参加した職員は、研修内容をレポートにまとめ、知識の定着を図っている。外部研修で得た知識や情報を参加職員が他の職員に共有するため勉強会を定期的に行っている。外部研修や内部の勉強会の内容を全職員に周知するための資料を作成し共有している。	虐待防止の指針を整備し、虐待防止委員会を定期的に行っているが、運営規程に虐待防止のための措置に関する事項の記載がない。運営規程に虐待防止のための措置に関する事項を記載すると共にホームの実情に合わせて必要な事項を運営規程に追記し、最新版に更新しておくことが望ましい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	5つの虐待を行わないよう注意をし、研修にも参加し情報を共有しています。	5つの虐待を行わないよう注意をし、研修にも参加し情報を共有しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人として研修に参加をし、情報を共有する場を設けています。	法人として研修に参加をし、情報を共有する場を設けています。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者様ご家族様が理解・納得されるまで説明を行い納得されたうえで署名捺印を頂いています。	入居者様ご家族様が理解・納得されるまで説明を行い納得されたうえで署名捺印を頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ふれあい設置箱や日々のご家族との連絡の中で意見や要望をお聞きし報告を行います。	ふれあい設置箱や日々のご家族との連絡の中で意見や要望をお聞きし報告を行います。	入居者及び家族からの重要な意見や要望については、速やかに管理者に報告し、適切な対応を検討している。面会時の様子や意見、要望などを詳細に申し送りノートに記録している。申し送りノートに記録された情報は、日勤・夜勤の申し送り時に職員間で共有し入居者をサポートしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見や提案があった場合は報告を受けた上で検討し、可能な限り反映させています。	意見や提案があった場合は報告を受けた上で検討し、可能な限り反映させています。	毎月1回、職員全員が参加するミーティングを開催し、業務内容や改善点について自由に意見交換を行っている。ミーティングでは、要望や提案を積極的に受け付け、サービスの向上に繋げている。通常業務においても、職員はいつでも管理者に意見や要望を伝えることができる。管理者は、職員からの意見を真摯に受け止め、迅速に対応することで円滑な業務運営を支援している。ミーティングや日常的な意見交換で得られた情報は、職員間で共有し、入居者が快適に生活できるよう、日々の業務に反映させている。	円滑な職員意見の反映に繋げる為に、今後、ホームのハラスメントに関する方針の明確化と、周知・啓発・相談対応窓口・研修実施など具体的に体制を整備することが望まれる。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が向上心を持って就業できるように職員の意見や要望を聞きながら労務士と相談を行い環境や条件整備に努めています。	職員が向上心を持って就業できるように職員の意見や要望を聞きながら労務士と相談を行い環境や条件整備に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の方針として内外研修への参加や各資格取得を推奨しています。	法人の方針として内外研修への参加や各資格取得を推奨しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	合同での研修会の企画、参加をおこない資質向上に努めています。	合同での研修会の企画、参加をおこない資質向上に努めています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安に感じること、困難なことを面談の中でお聞きすることで事前に予測できる事を契約時に説明しています。	不安に感じること、困難なことを面談の中でお聞きすることで事前に予測できる事を契約時に説明しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設見学や面談時にご家族が不安に感じていることを受け止め改善できるよう努めています。	施設見学や面談時にご家族が不安に感じていることを受け止め改善できるよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時の状況にあったサービスの提供が行えるかを考え、その他サービス利用も検討し視野に入れた上で対応しています。	その時の状況にあったサービスの提供が行えるかを考え、その他サービス利用も検討し視野に入れた上で対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご自身の居室にとどまることなく共有スペースで職員、他の利用者様、ご家族様と触れ合える場を提供しています。	ご自身の居室にとどまることなく共有スペースで職員、他の利用者様、ご家族様と触れ合える場を提供しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	連絡を蜜に行い、ご家族と共に利用者様の支援者として良好な関係が築けるよう努めています。	連絡を蜜に行い、ご家族と共に利用者様の支援者として良好な関係が築けるよう努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に行っていた散歩や買い物等に行けるようご家族にも支援をしています。	入居前に行っていた散歩や買い物等に行けるようご家族にも支援をしています。	職員は日頃の会話や関わりの中で入居者本人から馴染みの場や人、思い出の場所などについて確認している。入居者の表情や行動を観察し、言葉にならない思いやニーズを把握している。現在は墓参りについて家族での対応を支援している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が介護だけでなく利用者様と共に日常生活を行い利用者様同士の関係に気を配りながら関係が円滑になるよう努めています。	職員が介護だけでなく利用者様と共に日常生活を行い利用者様同士の関係に気を配りながら関係が円滑になるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関わりのあった方々とお付き合いを大切に、引き続きの相談や訪問をしていただけるよう心がけています。	関わりのあった方々とお付き合いを大切に、引き続きの相談や訪問をしていただけるよう心がけています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人やご家族の意向を大切に、様々な情報を得ながら要望に沿った支援を行うようにしています。	本人やご家族の意向を大切に、様々な情報を得ながら要望に沿った支援を行うようにしています。	居宅介護支援専門員や家族から、在宅時の生活状況や健康状態、趣味、嗜好などの情報提供を受け、生活歴を把握している。家族への聞き取りを通して、入居者の性格や価値観、大切にしていることなどを理解している。職員は入居者との会話の中で思いを聞き取り、家族の面会時や電話連絡時に意向を聞き取っている。本人へ意向の把握が困難な場合は日頃の様子を観察で把握し、本人本位に検討して介護計画に反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族から得た情報を反映し、ご本人のご希望に沿いながらその人らしく生活できるようにしています。	家族から得た情報を反映し、ご本人のご希望に沿いながらその人らしく生活できるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員が入居者様1人1人の1日の様子を申し送りして把握できるよう努めています。	職員が入居者様1人1人の1日の様子を申し送りして把握できるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様やご家族から意見をお聞きし、担当者会議を行う中で職員からの意見を出し合い介護計画に反映しています。	利用者様やご家族から意見をお聞きし、担当者会議を行う中で職員からの意見を出し合い介護計画に反映しています。	介護計画見直し前に、介護支援専門員が入居者の状況を詳細に把握している職員から日頃の生活状況や健康状態などを丁寧に聞き取るようにしている。聞き取った情報を基にモニタリングとアセスメントを実施し、入居者のニーズや課題を明確にし介護計画を立案している。担当者会議では、介護計画案について意見交換を行い、入居者のニーズの明確化とサービス内容の決定を行い計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	状態の変化を記録し、変化については情報を共有しながらサービスの実践や介護計画の見直しに反映しています。	状態の変化を記録し、変化については情報を共有しながらサービスの実践や介護計画の見直しに反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様やご家族の要望に合わせて相談や話し合いを行い柔軟に対応しています。	入居者様やご家族の要望に合わせて相談や話し合いを行い柔軟に対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域民生員、地域住民、地域包括と情報交換を行っています。	地域民生員、地域住民、地域包括と情報交換を行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医のほか、入居者様やご家族がご希望されるかかりつけ医があれば協力し情報共有します。	協力医のほか、入居者様やご家族がご希望されるかかりつけ医があれば協力し情報共有します。	入居前に、入居者および家族様に対して、かかりつけ医の継続利用、または協力医療機関への変更について説明し、希望を伺っている。協力医療機関の医師が、定期的に訪問診療(2週間に1回)を行い、入居者の健康管理をサポートしている。歯科医師による訪問診療を、必要時または定期的実施し、口腔ケアを支援している。皮膚疾患を持つ入居者には皮膚科医師が月1回訪問診療を行い、適切な治療を提供している。診療の結果や医療情報は、医師、看護師、介護職員間で共有している。	家族対応による入居者の受診が行われているが、家族に対し入居者の情報が十分に伝達できていない場合もある為、円滑な受診に繋げる為にも、今後、入居者の情報提供書類を整備し、受診前に家族へ提供することが望ましい。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康管理に応じた支援が行えるように協力医や看護師と連携を取り配慮をしています。	健康管理に応じた支援が行えるように協力医や看護師と連携を取り配慮をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	状態把握を行い、医療機関と連携が図れるよう配慮しています。	状態把握を行い、医療機関と連携が図れるよう配慮しています。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者やご家族の意向を重視し、職員で終末期について考え協力医と相談できる体制をととのえています。	入居者やご家族の意向を重視し、職員で終末期について考え協力医と相談できる体制をととのえています。	入居者の容態が急変した場合や、終末期を迎えたと判断される場合には、主治医が医学的な見地から看取りの必要性を判断している。医師の判断に基づき、主治医、家族、担当職員が集まり、看取りに関する話し合いを行っている。本人の状態や家族の希望に応じて可能な限りの看取り支援を提供し、居室での看取り、終末期のケア、家族の精神的なサポートなどを行っている。家族の希望や入居者の状態によっては、協力医療機関への入院や、訪問看護による点滴実施などの医療処置が必要となる場合があり連携している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員で急変時に備え研修を行い円滑な対応ができるように努めています。	職員で急変時に備え研修を行い円滑な対応ができるように努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	ハザードマップの確認、避難場所の確認を行い災害時の対応が円滑にできるよう努めています。	ハザードマップの確認、避難場所の確認を行い災害時の対応が円滑にできるよう努めています。	消防設備点検者の立ち会いと指導の下、隣接するケアハウスと合同で昼間・夜間を想定した消防訓練を実施している。訓練では、消火器の取り扱い訓練、避難経路の確認、初期消火活動、避難誘導など、実践的な内容を取り入れている。訓練の様子を詳細に記録するため訓練の場面を写真撮影し、訓練の振り返りや改善点の検討に繋げている。訓練後には、参加者全員で振り返りを行い、次回の訓練計画に反映させている。	立地状況を考慮すると、地域住民との協力体制を築くことが難しい状況もあるが、有事の際の安全確保を考慮し、例えば地域消防団員のホーム見学や、消防訓練への地元消防団の参加依頼等、情報提供を行いながら地元消防団との日頃の協力体制や連携を強化し、有事の際に備えた体制を構築することを期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の取り扱いには十分に配慮をし、日常成果においても自尊心やプライバシーを守るよう職員の意識向上を図っています。	個人情報の取り扱いには十分に配慮をし、日常成果においても自尊心やプライバシーを守るよう職員の意識向上を図っています。	入職時に、全職員から個人情報取り扱いに関する誓約書を取得し、個人情報保護の重要性を周知している。法人全体で接遇マナーの向上に取り組んでおり、外部研修を受講している。研修では、言葉遣いや態度など、具体的な事例を通して接遇を学んでいる。職員同士が互いに注意し合える関係性を築き、不適切な言葉遣いや行動を未然に防ぐよう努め、定期的なミーティングや勉強会を通して、職員全体の意識向上を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で希望、要望を伺い、選択肢の中からご自身で選択できる場を作るよう努めています。	日常生活の中で希望、要望を伺い、選択肢の中からご自身で選択できる場を作るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調に合わせてながら気持ちを尊重し、できるだけ個別性のある支援をおこなうよう努めています。	体調に合わせてながら気持ちを尊重し、できるだけ個別性のある支援をおこなうよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容師訪問を行い、入居者様やご家族様のご希望によりカットのサービスを提供しています。	美容師訪問を行い、入居者様やご家族様のご希望によりカットのサービスを提供しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューが豊富で、食事の話題等で楽しい雰囲気の中食事をされています。	メニューが豊富で、食事の話題等で楽しい雰囲気の中食事をされています。	食材は信頼できる宅配業者に依頼し季節の食材や地域の食材を積極的に取り入れ、食事を提供している。入居者の嗜好やアレルギーに対応するため、個別情報を掲示し、代替食を提供している。嫌いな食べ物やアレルギーに関する情報は、入居者名と提供できない食品名を記載したリストを作成し、厨房内に掲示している。行事食は、イベントに合わせた特別献立を宅配業者に注文し、季節感やイベントの雰囲気を盛り上げている。おやつは、手作りのものを提供し、入居者に喜んでもらえるよう工夫している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は毎回確認し、量、内容、形態についてはご本人やご家族、主治医の意見を参考にしながら支援しています。	食事摂取量は毎回確認し、量、内容、形態についてはご本人やご家族、主治医の意見を参考にしながら支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔内チェックを行い入居者様の状態に合わせて口腔ケアの支援を行ない、必要に応じて訪問歯科医との連携を図っています。	毎食後に口腔内チェックを行い入居者様の状態に合わせて口腔ケアの支援を行ない、必要に応じて訪問歯科医との連携を図っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様お一人一人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行うようにしています。	入居者様お一人一人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行うようにしています。	入居者各自の排泄パターンや習慣を把握し、適切なタイミングで声かけや介助を行うよう取り組んでいる。自立されている入居者にも、失禁の有無に関わらず、衛生上の観点から夕方にパッド交換の声かけを行っている。清潔な状態を保つことで、皮膚トラブルや感染症の予防に努めている。夜間巡回時には、熟睡されている入居者の睡眠を妨げないように、パッドのサイズや素材を工夫している。排泄状況や支援内容を記録し、職員間で情報共有を行い、個別ケアに役立てている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行い排便状況の確認を行っています。必要に応じて主治医の意見を聞きながら自然排便を促すよう努めています。	排便チェックを行い排便状況の確認を行っています。必要に応じて主治医の意見を聞きながら自然排便を促すよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	バイタルチェックを行い、健康状態を確認しながら入居者様の意向に沿うよう入浴支援を行っています。	バイタルチェックを行い、健康状態を確認しながら入居者様の意向に沿うよう入浴支援を行っています。	週4日の入浴日を設定し、入居者一人ひとりが週2回入浴できるよう支援している。リフト浴を整備しており、入居者全員が安心して浴槽に入ることができ、職員が付き添い安全な入浴をサポートしている。入居者各自の入浴道具を用意し、本人が好むシャンプーやボディソープなどを使用している。入浴拒否や体調不良時には、代替日を設け柔軟に対応している。入居者の状況に合わせて、清拭や部分浴など支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	できるだけ日中の活動を促し、入居者様の体調や生活リズムを整えるように努めています。また、体調などで個別に対応し休息できるように努めています。	できるだけ日中の活動を促し、入居者様の体調や生活リズムを整えるように努めています。また、体調などで個別に対応し休息できるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師からの処方箋を保管し職員が把握できるようにし、服薬管理を徹底しています。	医師からの処方箋を保管し職員が把握できるようにし、服薬管理を徹底しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションや体操などを行い個人の好みに合った活動を行います。	レクリエーションや体操などを行い個人の好みに合った活動を行います。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候の良い日には職員やご家族と戸外へ出られています。	気候の良い日には職員やご家族と戸外へ出られています。	入居者はホーム周辺に咲く季節の花々を愛でながら、職員とともに散歩に出かけている。玄関外のベンチや椅子に座り、日光浴や気分転換を楽しんでいる。天候や体調に合わせて、無理のない範囲で活動を行っている。暖かい季節には、多種の桜が順に咲く公園での花見と、公園に隣接するレストランでの食事会を計画している。季節の移り変わりを感じながら、入居者に楽しい時間を提供できるよう、外出計画を検討している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族に金銭管理をお願いしています。買い物については希望に沿うように意見を伺いお願いしています。	ご家族に金銭管理をお願いしています。買い物については希望に沿うように意見を伺いお願いしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りは常に可能で必要に応じて支援を行っています。	電話や手紙のやり取りは常に可能で必要に応じて支援を行っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	いつでも共有スペースに来れるように、清潔に心がけています。オーシャンビューが見えやすいように、華美な飾りつけしないように心がけています。	いつでも共有スペースに来れるように、清潔に心がけています。オーシャンビューが見えやすいように、華美な飾りつけしないように心がけています。	フロアの壁や居室のドアに職員手作りの壁画を掲示し、季節感や温かみのある空間を演出している。カレンダーを見ながら、入居者と一緒に月日や曜日を唱和し、時間感覚を保てるよう努めている。昼食後には、換気を徹底し、室内の空気を入れ替えている。清掃は、夜勤者がフロアの拭き掃除を行い、清掃担当者がホーム全体の清掃を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: )	実践状況(ユニット名: )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同スペースだけでなく玄関ホールにも椅子を設置し観葉植物や写真啓示を行い居心地の良い環境づくりに努めています。	共同スペースだけでなく玄関ホールにも椅子を設置し観葉植物や写真啓示を行い居心地の良い環境づくりに努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた寝具や家具をお持ちいただき、入居前と変わらぬ環境で安心して過ごせるよう配慮をしています。	使い慣れた寝具や家具をお持ちいただき、入居前と変わらぬ環境で安心して過ごせるよう配慮をしています。	入居時に、火気や刃物など安全上の理由で制限されるものを除き、持ち込みは自由であることを入居者・家族に説明している。入居者が愛着のある家具や日用品を持ち込み、居室内にテレビを設置したり、家族の写真を飾ったりするなど、入居者が自由に居室を使用できるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様それぞれの状態を確認し、居室だけに限らず全体について職員で意見を出し、その都度の状態変化に合わせた支援が行えるよう努めています。	入居者様それぞれの状態を確認し、居室だけに限らず全体について職員で意見を出し、その都度の状態変化に合わせた支援が行えるよう努めています。		